

平成22年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 327

所管部局	市民部	所管課	環境課	担当者名	吉田 恵
事業名	3R推進事業			事業分類	ソフト事業
細事業名	3R推進事業			政策体系	221
会計	一般会計	科目	4.衛生 - 1.保健 - 3.環境		

1. 事業の概要

地域・市民との連携やリサイクル活動の支援を通して、リサイクルやごみの減量化、地域の住み良いまちづくりを行う。

2. 事業の目的と必要性

①施策で目指す目標との関連付け

ごみの排出量を抑制するとともに、環境への負担の少ない暮らしやエネルギーの有効活用を実践させるための事業。

②事業を実施する必要性

家庭から排出されるごみを正しく分別することにより、ごみの減量化や資源再利用を着実に促進するため、本事業は必要不可欠である。

3. 事業費の推移

	単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21決算	平22予算	平23計画	平24計画
決算額または計画額	千円				5,141	5,723	6,813	6,813
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円				0	0	0	0
財源内訳								
使用料・手数料等	千円				1,012	1,086	876	876
国・府支出金	千円				1,144	0	0	0
地方債	千円				0	0	0	0
一般財源	千円				2,985	4,637	5,937	5,937
職員等の従事人員	人/年	—	—		0.34			
人件費	千円	—	—		2,506			
事業費総額	千円	—	—		7,648			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。
 ※平成21年度の国・府支出金は、京都市町村未来づくり交付金である。

4. 主な事業費の内訳

リサイクル業務委託	565,803円	(委託料)
環境美化推進活動	2,382,000円	(委託料)
資源ごみ集団回収助成及び交付金	1,789,370円	(負担金、補助)
生ごみ処理機等購入補助及び交付金	376,125円	(負担金、補助)

5. 事業結果の概要

資源ごみ拠点回収	40.6t
環境美化推進委員	179名
資源ごみ集団回収助成	37団体、516t
生ごみ処理機等購入補助	42個

6. 活動の詳細

活 動 内 容	活動日又は時期	活 動 結 果 等
(1) リサイクル業務		
エコパックの配布・回収作業をシルバー人材センターに委託した。	年間	12ヶ月、566千円
(2) 環境美化推進委員活動		
各地区に環境美化推進委員を委嘱し、ごみステーションの管理、ごみ分別方法の指導等、地域のリーダーとして活躍いただいた。 また保管場所が確保できる地区については、エコパックを各地区に貸与し、地域における自主管理に協力いただいた。	年間	委員：179名、委託料：2,978千円 エコパック地元管理：園部33、八木16、日吉33、美山56
(3) 資源ごみ拠点回収		
「リサイクルの日」に、資源の館で資源化ごみの拠点回収を実施した。	年間（毎月8日）	40.6t（ダンボール6.7t、新聞10.0t、雑誌18.5t、古着5.4t）
(4) 資源ごみ集団回収助成		
ごみ減量化と資源の有効利用を図るため、地域で自主的に行う集団回収事業に対し、報奨金を交付した。	年間	団体数：登録38、交付36 実績：502t、1,730千円
(5) 生ごみ処理機等購入補助		
生ごみの減量化を図るため、生ごみ処理容器および堆肥化容器の購入費の一部を補助した。	年間	実績：42個（電気式21、堆肥化21）、376千円

7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

前年までは、ごみ減量・リサイクル・環境美化など多様な目的の業務が混在し、事業評価が難しい状況であったため、事業区分を整理し、新たに3R（発生抑制、再利用、再生利用）に関する事業区分を設けた。
また、エコパックの地域への貸与を促進し、配布・回収にかかる経費を大幅に削減することができた。

【参考】過年度の評価

■平成21年度の所属長評価

--